

月刊 社会保険 1

2021 VOL.846

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

令和2年度 年金委員功労者厚生労働大臣表彰

令和2年度 健康保険委員功労者厚生労働大臣表彰

保険者機能強化アクションプラン(第5期)の概要

厚生労働省からのお知らせ

新型コロナウイルスに関するQ&A「健康保険法等における傷病手当金、被扶養者の扱い」

《職場で新型コロナウイルスに感染した方へ》業務によって感染した場合、労災保険給付の対象となります

第2回「令和の年金広報コンテスト」の受賞者を決定しました

日本年金機構からのお知らせ

令和2年度「わたしと年金」エッセイ審査結果について

| | |
|---|----|
| 令和2年度 年金委員功労者厚生労働大臣表彰 | 4 |
| 令和2年度 健康保険委員功労者厚生労働大臣表彰 | 6 |
| 保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要 | 7 |
| 厚生労働省からのお知らせ | |
| 新型コロナウイルスに関するQ&A「健康保険法等における傷病手当金、被扶養者の扱い」 | 8 |
| 《職場で新型コロナウイルスに感染した方へ》業務によって感染した場合、労災保険給付の対象となります | 9 |
| 第2回「令和の年金広報コンテスト」の受賞者を決定しました | 10 |
| 日本年金機構からのお知らせ | |
| 令和2年度「わたしと年金」エッセイ審査結果について | 14 |
| 年金・健康保険委員活動報告 委員会活動の効用と責任 | 18 |
| 株式会社赤井沢 ^{あかいざわ} 経理課長 小野寺 ^{おのの} 賢治 ^{けんじ} | |
| アマリストがいく!! ピンチをチャンスに変える謝罪術 第9回 日本独自の謝罪文化 | 20 |
| 株式会社クロスリバー ^{あかねが} 代表取締役社長 越川 ^{こしかわ} 慎司 ^{しんじ} | |
| 日本とは異なるイタリアの生活事情 第9回 81歳の国道81号線（SS81）ツーリング | 22 |
| イタリア在住ジャーナリスト 茜ヶ久保 ^{あかねがくぼ} 徹郎 ^{てつろう} | |
| 書評 ^{ゆい だいざびるう} 油井大三郎 著 避けられた戦争——一九二〇年代・日本の選択 | 24 |
| 認知症とともに生きる家族の物語 | |
| 第9回 認知症になってもわが家のスクラムは変わらない 滋賀県 ^{しが} 田丸完治 ^{たまるかんじ} さん・芳枝 ^{よしえ} さん夫妻 | 25 |
| NPO法人ハート・リング ^{はやた} 運動専務理事 早田 ^{まさみ} 雅美 | |
| 認知症を予防する③ 第9回 環境要因と認知機能 | 28 |
| お茶の水健康長寿クリニック ^{しらすわ} 院長 白澤 ^{たくじ} 卓二 | |
| 社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 | |
| 特定社会保険労務士 ^{すずき} 鈴木 ひろみ | |

表紙写真・竹内敏信^{みずうち ひと} / イラストレーション・水森亜土 / デザイン・編集協力・(有) フェイム / 印刷・(株) エイエヌオフセット

表紙のことは—— 竹内敏信^{たけうち としのぶ} 「光の響」**「霧水の華」** 北海道音更町 十勝川^{おとふけちやうとかちがわ}



十勝川の雪の風景である。これまで花風景として作品を見てもらっていた。この作品には草木に咲く花はない。もしかしたら違和感を感じた人もいるだろう。しかし、私はこう考えている。冬になると枝木には雪という美しい花を咲かせると。そう考えると見え方は変わるのではないだろうか。吹雪は、花吹雪のように溶け落ちるのではなく枯れ落ちる。花の儂^{はかな}さと同じ感情を覚える。私はこの儂い時間が好きである。わずかなひとときの美しさ、この目で見て感じたことを写真という機会に残す。そして私が感じたことを多くの人に知ってほしい。そして、いずれは実際に自然の中に入り、それを肌で感じてもらいたい。

委員会活動の効用と責任



株式会社赤井沢 経理課長
小野寺 賢治

● **地域紹介**
当社のある仙台市は宮城県ほぼ中央に位置し、伊達政宗公の時代から東北地方の中心都市として発展しています。東北地方で唯一の政令指定都市である仙台は、108万人の人口を擁し、首都圏からの良好なアクセスもあいまって、周辺市町村を含めて約150万人の仙台都市圏を形成し、東北地方の商業の中心となっています。

また、仙台は年間を通じてさまざまなイベントが行われる魅力いっぱいの街。

春には街中を武者行列と山鉦巡行や「すずめ踊り」が演舞される「仙台・青葉まつり」が、夏には東北3大祭りのひとつ「仙台七夕まつり」が行われ、華やかな七夕飾りが街を彩ります。

「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」は、毎年9月に行われる音楽祭。街全体がステージとなって多くのバンドが出演し、杜の都が音楽で溢れます。

冬の風物詩といえば「SEND AI光のページェント」。仙台のシンボル・定禅寺通りのケヤキ160本が幻想的な光で輝きます。またお正月

ているところであり、委員会活動のメリットであると感じています。

日々の業務において、社員から質問が多いのは退職後の年金についてです。年金制度は複雑なため正確に対応することはなかなか大変です。まずは、自分なりに調べてみるわけですが、調べてもわからない際は年金事務所へ教えてもらうこともあれば、丁寧に教えてもらい助かっています。

社員にとっては、退職後の生活が経済的にどうなるのかということへのイメージがしづらく、漠然とした不安だけが膨らんでいます。

そのような中で、年金の手続方法や年金額などがある程度具体的に確認してもらうことで、不安を取り除くことになり、社員が退職後の人生設計を立てやすくなるということもあります。

特に「老後資金2000万円不足問題」が報道されたこともあり、在職中に退職後の経済面の備えをして、不安を少しでも減らすことは大変重要なことだと感じています。そのお手伝いをしていくことが仕事のやりがいにもつながっています。

一方では、若い世代の社員にとって、年金制度は保険料を負担して

るにもかかわらず、自分たちが受け取るべき年齢になったとき、本当に受け取れるのかという不安を持っている制度でも感じています。

日本の年金制度は、年金支給に必要な財源を、今働いている世代(現役世代)が支払うしくみです。現役世代と年金受給世代の世代間で支え合う、という考えに基づいて運営されています。よくよく聞いてみると、自分の年金は自分で納めている保険料がもとになっていると思っているところがあります。

そういう意味において、年金制度について正しい理解をしてもらえるように働きかけをしていくことは大切な役割であると感じています。

● 結び

社会保険の制度が変わる中、年金委員として事業主、社員と年金事務所との橋渡しとして携わっていくことがより必要になってくると感じます。

社内でのさまざまな社会保険に関する相談内容について、適切に対応できるように研修会等を活用して、常に知識のバージョンアップをはかり、責任と自覚をもって活動をしていきたいと思えます。

の名物行事として「仙台初売り」があり、四季折々のイベントが街中で開催され活気に溢れています。

● 会社紹介

仙台市の中心部から南に車で10分ほどの長町地区に当社の本社があります。長町は、仙台市の副都心であり、近年再開発が進み、人口が増加しているエリアです。

当社は、この長町で1921(大正10)年に創業し、2021(令和3)年に創業100年を迎えます。

現在は、文具、事務用品、事務機器の小売業を営んでいます。もとは赤井沢紙店として、和紙などの販売からスタートしています。その後、文具、事務用品を販売し、さらに事務機器部門を組織し、コピー機やIT関連製品などの販売も手がけ、法人向けの営業への展開も図ってきました。仙台市内に小売店6店舗と法人営業の2本柱で地域密着をモットーに業務にあたっています。

当社には、社員全員が心がけて、毎日実践している「心のおまけ」という思いやりの行動があります。現会長が生み出した行動規範です。「お客様がなにか買ってくださいる前に、な

にかできることをしてさしあげなさい」という教えのもと、お客様とのコミュニケーションを図り、地域になくしてはならない企業となるよう日々努めています。

● 委員会活動について

仙台南社会保険委員会へは、所属部署の上司が年金委員だったということで、上司の定年退職に伴い、委嘱を受けることとなりました。

当初は、どんな会であるかよくわからないままに携わっていました。定期的に行われる社会保険委員会の会合に参加し、他の先輩委員の皆さんに声をかけていただきました。その中で、会の動きや歴代の委員のお話などを聞かせていただき、委員の役割を少しずつ理解していきま

した。
委員の方々との交流を通して、業種もさまざまな方々と情報交換をさせていただいたり、業務上わからないことを直接教えていただいたりしています。

他業種のやり方を真似てみて、自分の業務に取り入れて効率がよくなったことなどは、委員会活動でのつながりから自分の業務に活かされています。
全国の年金委員および健康保険委員の皆様のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。私の委員会活動報告とさせていただきます。
(仙台南社会保険委員会監事)



株式会社赤井沢